

明日を拓く 食肉業界の総合専門誌

月刊 ミート・ジャーナル

2010

7  
July

mj  
The Meat Journal No.560

### 好評連載

混迷する時代の  
明日のミートマーケットを眺む  
高橋 寛  
Hiroshi Takahashi

食肉産業海外レポート  
木村勝紀  
Masanori Kimura

専門店を往く  
松永 寛  
Yutaka Matsunaga

ミート・デリ講座  
牧野元彦  
Motohiko Makino

これからの売れ筋商品を探る  
牧野元彦  
Motohiko Makino

チラリチクリ  
食肉応援隊  
Meat Supporters



### 肉用若鶏の 地方別飼養羽数

農林水産省統計情報部「食鳥流通統計」より集計  
単位=1,000羽

# 特集 この県の この鶏肉

一般鶏肉から銘柄鶏肉まで

## Question

小売中心の営業を行ってきましたが、後継者も決まり今後は、卸の取り扱いを増やしたいと思います。取扱量が多くなることから、在庫管理システムの導入を検討していますが、具体的にどこまでの管理が可能なのか、システム内容を教えてください。（東京・小売店）

## Answer

従来、管理システムは大手の卸売り企業が導入していましたが、現在では、中小企業向けのシステムが提案されています。

今回は、システムソリューションプロバイダのアイル（本社：大阪市北区・東京都港区、代表取締役社長：岩本哲夫）が販売を開始した食肉業界向けの販売・在庫管理システム「アラジンオフィス」を紹介します。

「アラジンオフィス」は、食肉業界における中堅・中小企業に特化した販売・在庫管理パッケージシステムです。

不定買商品の管理が可能なパッケージに、食肉業界への導入実績を基にしたカスタマイズ提案を行い、各企業に最適なシステムを構築します。シンプルなシステム構成のため、コストを抑えてシステム導入ができ食肉業における効率的な業務改善を支援します。食肉業界向け「アラジンオフィス」パッケージ機能およびカスタマイズの特長は、おもに下記の7点があげられます。

①定買・不定買別の在庫管理では、1商品1ロットNO.に対して、ケース／重量での入庫および仕入登録することで、在庫管理もケース／重量での参照が可能となる。

②ロットNO.（固体識別番号）別トレーサビリティへの対応では、ロットNO.による入庫・加工・出庫の紐付けにより、ロットNO.での取引履歴が一覧で確認でき、トレースフォワード・トレースバックの効率化が図れる。

③委託倉庫に対する依頼書（入出庫／名義変更／配送依頼書）の発行。納品書兼請求書の発行と同じタイミングで、倉庫毎の入庫NO.を印字した自社フォーマットの依頼書

を発行することが可能。

④サイト別の回収・支払予定管理（売上日と決済日を指定し、「売上日から〇〇日後請求」といった回収・支払管理が可能。伝票印字はもちろん、サイト別の請求・支払一覧などの帳票も出力できる。

⑤出切重量計算（ロットNO.・入庫NO.）単位の取引履歴を一覧表示し確定重量を登録後、赤黒伝票データを自動作成することができ、入庫から出切までのスパンが長いロットNO.の精算業務がより効率化される。

⑥細かい商品情報（原産国／賞味期限／チルフロ／KD／EST.NO.／ブランド）の管理。また仕入・入庫時にブランドや産地、原産国、チルフロ、KD、EST.NO.など商品に紐付く情報を登録することが可能。必要な商品情報を伝票印字することはもちろん、在庫確認時にも商品情報を確認することができるため、正確な商品管理が行える。

⑦滞留在庫管理では、「指定日付から〇〇日前に入庫した在庫」という抽出条件により滞留している在庫の確認ができるため、賞味期限切れによる廃棄の防止や、販売促進に活用することが可能となる。

価格はパッケージシステム160万円からで、カスタマイズ・システム構成によって価格が異なります。

詳しくは、電話0120(356)932、担当＝佐々木・関野、HP：<http://www.aladdin-office.jp/food/> お問い合わせ下さい。